

専門〈動物飼育員〉

(1) 食肉目の繁殖に関する次のA～Dの記述の正誤の組合せとして、正しいものはどれか。

- A. 食肉目の動物は、一般的に妊娠期間が長期に及ぶものが多く、出産後、子は自力で起立し、母乳を探し当て授乳に至るものが多い。
- B. 食肉目の雌の発情は、一年を通じて定期的に繰り返す周年多発情であり、季節性多発情や単発情の種は認められない。
- C. イヌ科動物などには、発情終了後に交尾の有無にかかわらず、営巣行動や食欲の増進、腹部の膨大など妊娠と同じような行動を示す偽妊娠がみられることがある。
- D. クマ科やイタチ科などの動物の中には、受精卵が子宮に入り、ただちに子宮内膜に着床するのではなく、浮遊状態を続け、ある条件が整った時に初めて着床する着床遅延が起こるものがある。

	A	B	C	D
1. 正	正	誤	誤	
2. 正	誤	正	誤	
3. 正	誤	誤	正	
4. 誤	正	正	誤	
5. 誤	誤	正	正	

(正答 5)

(2) 乾草（刈取り，乾燥させた茎葉飼料）に関する次の記述のうち，適切でないものはどれか。

1. イネ科乾草の例としては，チモシー，オーチャードグラスなどがあり，マメ科乾草の例としてはアルファルファなどがある。
2. イネ科乾草中のタンパク質含量を増加させるためには窒素肥料が重要であり，窒素及びリンを施肥すると嗜好性が改善することもある。
3. 植物の刈取り時の成熟が進むにつれて，乾草の嗜好性，消化率及び栄養価の低下が起きる。
4. イネ科乾草はマメ科乾草よりも粗タンパク質，カルシウム，マグネシウム及び硫黄含量が高い。
5. 乾草は，その乾燥中に栄養学的変化が起こり，天日乾燥した乾草は一般にビタミンD₂の含量が増加する一方，過度に乾燥させるとカロテンが損失する。

(正答 4)